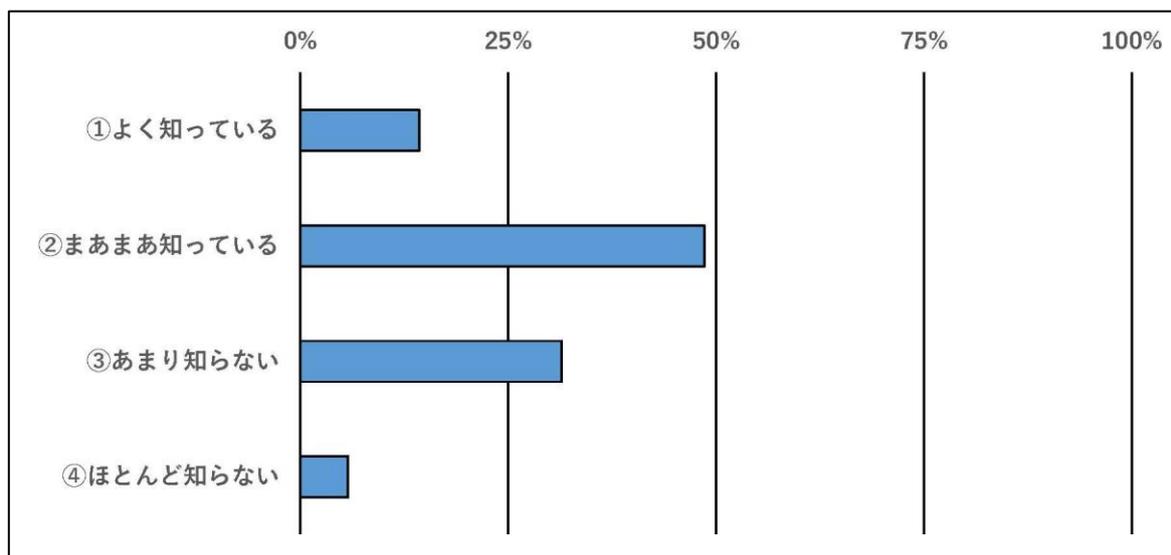


英語の授業に係る調査(大分市中学校外国語科教員対象アンケート)集約結果

Q1. 現在行われている小学校外国語活動・外国語科の指導内容や指導方法をどのくらい知っていますか？



①よく知っている	14.3%
②まあまあ知っている	48.6%
③あまり知らない	31.4%
④ほとんど知らない	5.7%

<分析・考察>

☆約半数の割合で、小学校での指導については中学校教員に知られている。

☆一方で約36%は「知らない」とする教員も存在する。

☆教科書の構成が本年度から新しくなったこともあり、小学校での外国語活動の学習に対して意識を向けようとする教員がいることは、小中の連携や交流を今後増やす上でとても大切であると考えます。一方でまだ、「知らない」とする教員に対しては、小学校の授業で行われる教科書の扱い方や教えている内容について周知していく必要がある。

Q2. 各学校で小中連携した円滑な接続の取組が行われていると思いますが、貴校で行われている具体的な取組内容をお書きください。

【小中互いの授業視察・交流授業の実施など】

- 小学生のスピーチの発表会を視察して、その様子を中学校教員でシェア。
- 小中合同検証授業でお互いに授業を参観する。
- 週に一度中学校英語科教員が小学校を訪問して授業を行う。
- 年数回、小中連携会議を行い、中1ギャップの解消に努める。
- 授業の様子をビデオに撮って合同研修会で見合う。
- 小学校で使ったピクチャーカードを使って中1の単元指導を行う。

【情報交換】

- 小中合同の研修会での情報交換。
- 中学校英語教師と小学6年(英語指導)の教師における情報交換。
- 小学校での既習事項・指導案の把握。
- 小学校担当教員から生徒のレディネスの聞き取り。
- ALTに情報共有してもらう。

【自分の授業における工夫】

- ALTが小学校で行っていた授業を中学に取り入れている。
- 中1の4月にフォニックス、アルファベット、ローマ字指導を行う。
- 基本文型を使ったコミュニケーション活動での定着。
- 4月に簡単な自己紹介や相手に質問する活動を通して英文構造の理解へつなぐ。
- 音声を中心とした学習指導、デジタル教材の活用。
- 中学生が中学校生活を紹介する動画を撮影して小学校で見せる。

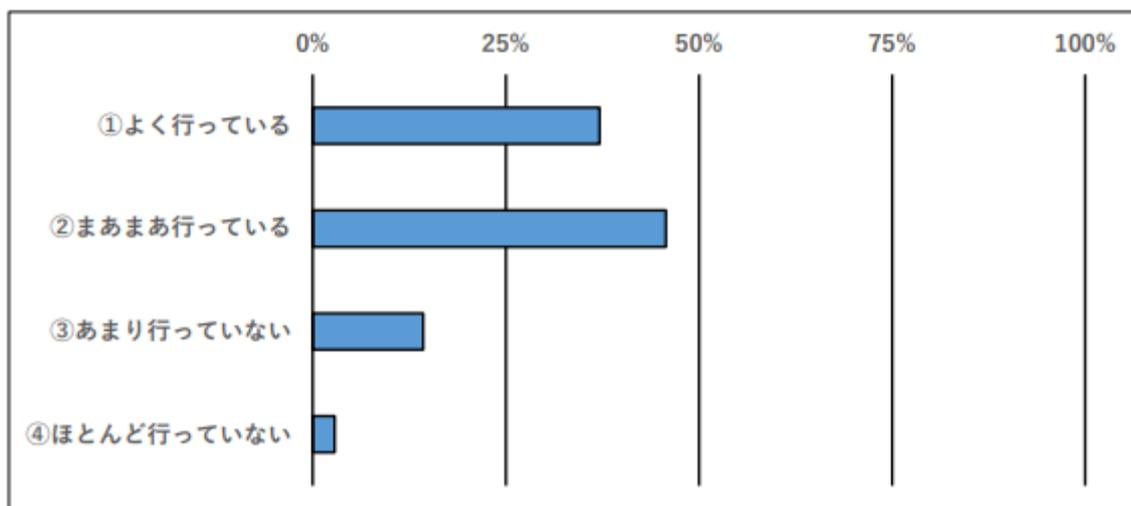
【実施していない・分からない】

- 分からない。
- 特にしていない。
- 学校の特性上連携を行っていない。
- 小中一貫の研修が行われるようになって(今後)話をするようになりそう。
- 小中連携で英語科での教科部会を行っていないため、具体的な取組はない。

<分析・考察>

寄せられた実践で多いのは、小中互いの情報交換である。中には互いに検証授業を行ったり、他校種の授業を参観したりする例も挙げられていた。一方でほとんど交流を行っていない学校も存在した。特に昨年度から今年度にかけては新型コロナウイルスの影響による学校事情も絡んで思うように取り組めないという感想もあった。小中の交流・連携については多くの学校で実施されてはいるが、その取り組む内容については学校によってずいぶん異なることが分かった。

Q3. 小学校で行われているような「単元のゴールを明確に設定し、単元終末の目指す生徒の具体的な姿や身に付けさせたい力をイメージ」して授業を行っていますか？



①よく行っている	37.1%
②まあまあ行っている	45.7%
③あまり行っていない	14.3%
④ほとんど行っていない	2.9%

<分析・考察>

約82%の割合で、「単元のゴールを意識して授業に取り組んでいる」という結果が出ている。一方で約17%の教員が「単元終末の場面を考えて授業を行っていない」とする結果から、小学校における逆向き設計の単元指導方法について周知する必要がある。

Q4. 新学習指導要領の改訂に伴い、本年度より教科書が新しくなりましたが、実際に使用してどのように感じていますか？(自由記述)

【学習する内容の量について】

- 語彙が豊富で、内容が充実している。
- 新出単語や連語の数が増え、難しくなった。
- 覚えなければならない単語が膨大で、言語活動に時間が割かれ、なかなか授業が進まない。
- 一つの LESSON の中にいくつも新出表現や新出単語が扱われている。
- LESSON 間のつなぎ目の部分にも学習事項が多い。
- 教科書の内容が多く、書くための時間がなかなかとれない。
- 文法事項が増え、本文も難しくなったように感じる。

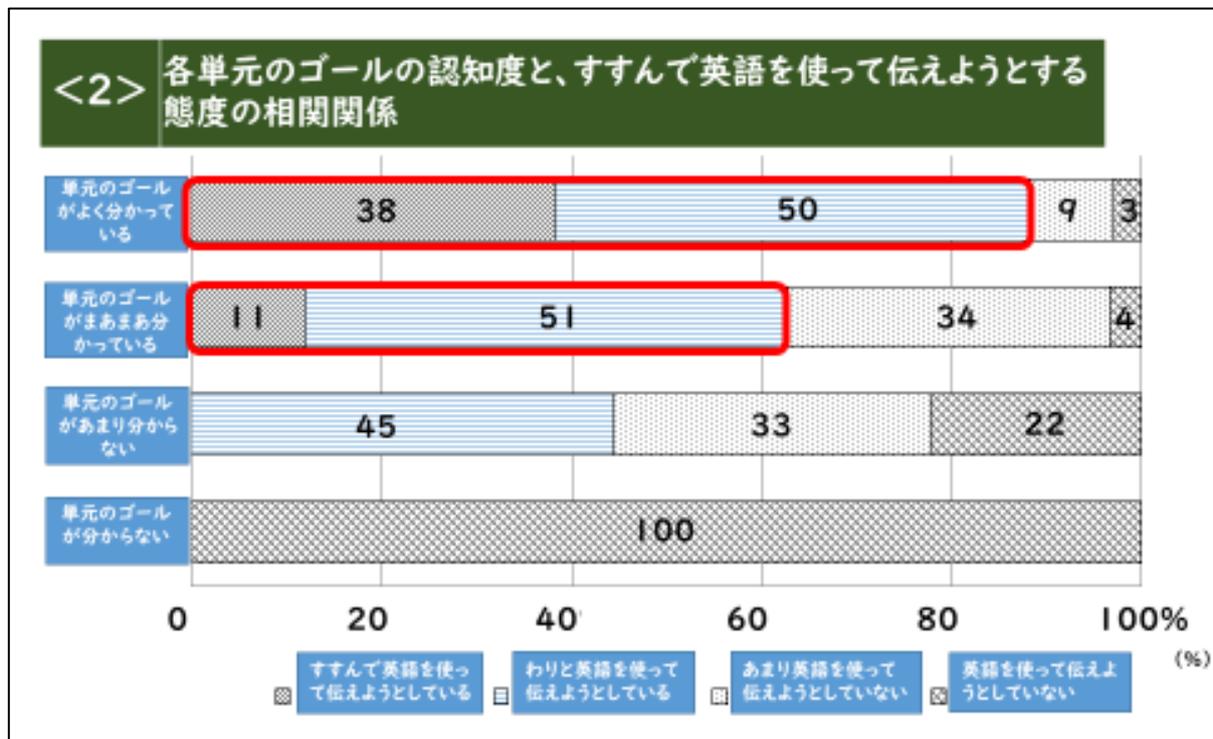
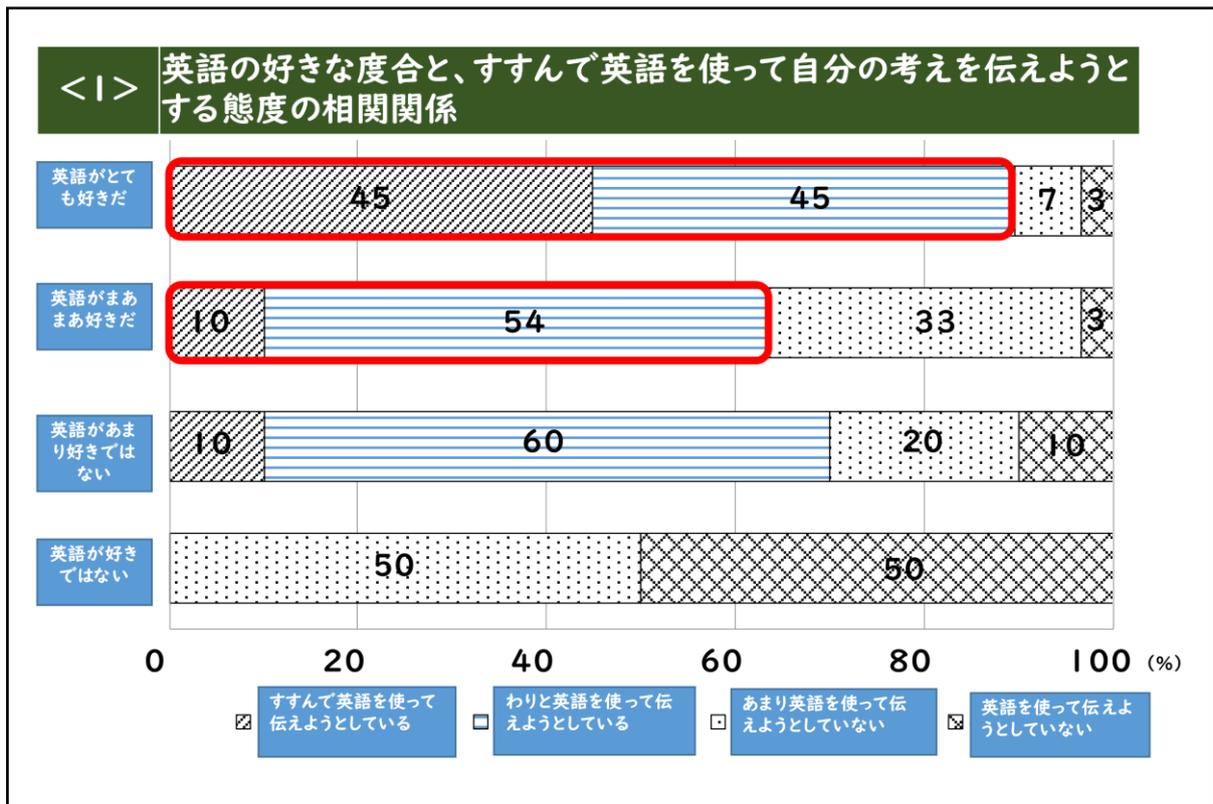
【教科書の構成について】

- 様々なコンテンツがあり、QRコードなどもついていて、使いやすい。
- 具体的な場面設定がされている。
- 4 技能のバランスが意識されている。
- 単元を通して活動を取り入れやすくなった。
- これから求められている英語教育に向けてよく考えられている。
- 1 年生には小学校からの学習できちんと取り組むことができると思う。
- デジタル教科書が非常に使いやすい。
- 1 年生の教科書で序数が先に導入されているため、数字が定着していない生徒に混乱が見られた。
- (1 年生)be 動詞と一般動詞を同じ時間の中で両方を扱ったところ、生徒が be 動詞と一般動詞とを混同している(同時進行での指導が難しい)。
- 大事な文法が複数(命令文や複数形の s、接続詞などが)本文に出てくる。
- 英文の表現も高校生の教科書レベルと思えるほどの内容もある。
- スピーキングの評価について、授業内である程度練習してからでない評価が難しいが、単元計画からすると授業の中で練習に時間を割けない。

【小中接続の観点から】

- b e 動詞と一般動詞が初めから出るが、小学校ですでに学習した内容なので子どもは学びやすい。
- アルファベットの順番を覚えていない。大文字・小文字の区別がつかない。発音の仕方が分からない生徒も一定数いるので、小学校高学年の時点で身に付けさせてほしい。
- 学力低位の子どもたちにいかに理解させるか、分かりやすく教えるために噛み砕いて指導しているが、難しさを感じている。
- 小学校での既習事項である単語や表現はもう一度おさえる必要があり、その都度説明をしていく必要があるため一つのレッスンにかなりの時間を要した。
- 一度に 2 つの文法を指導する単元があり、どのようにしたら生徒が理解しやすいか模索している。
- 1 年生でも複数形や連語の扱いが最初から出てきているので、丁寧な指導が求められている。
- b e 動詞や一般動詞は小学校でやっている形で進められるようになっているが、実際は簡単には進んでいない。

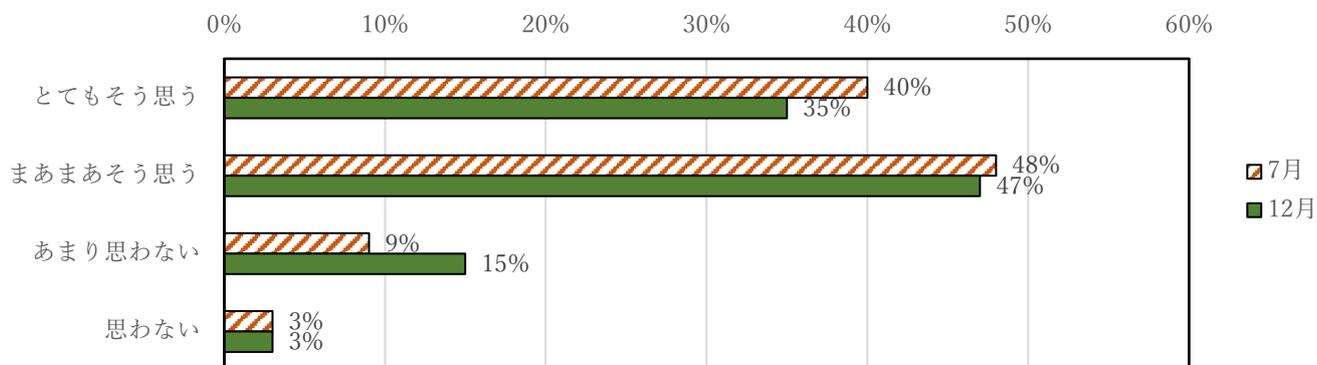
英語の授業に係る調査(所属校1年生対象)に対するアンケート



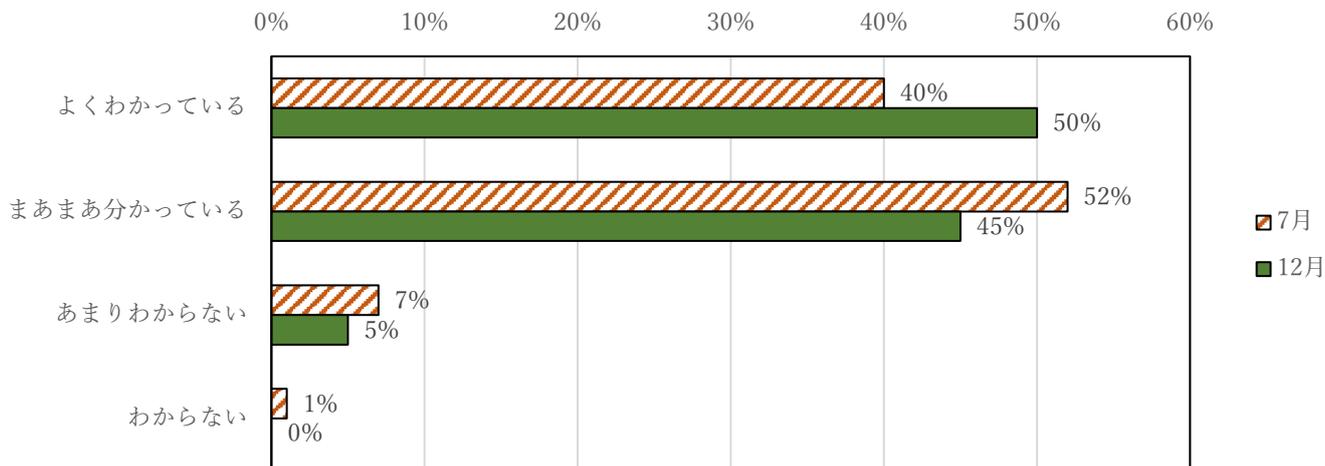
英語の授業に係る調査集約結果【事前・事後】

(所属校 | 年生対象アンケート)

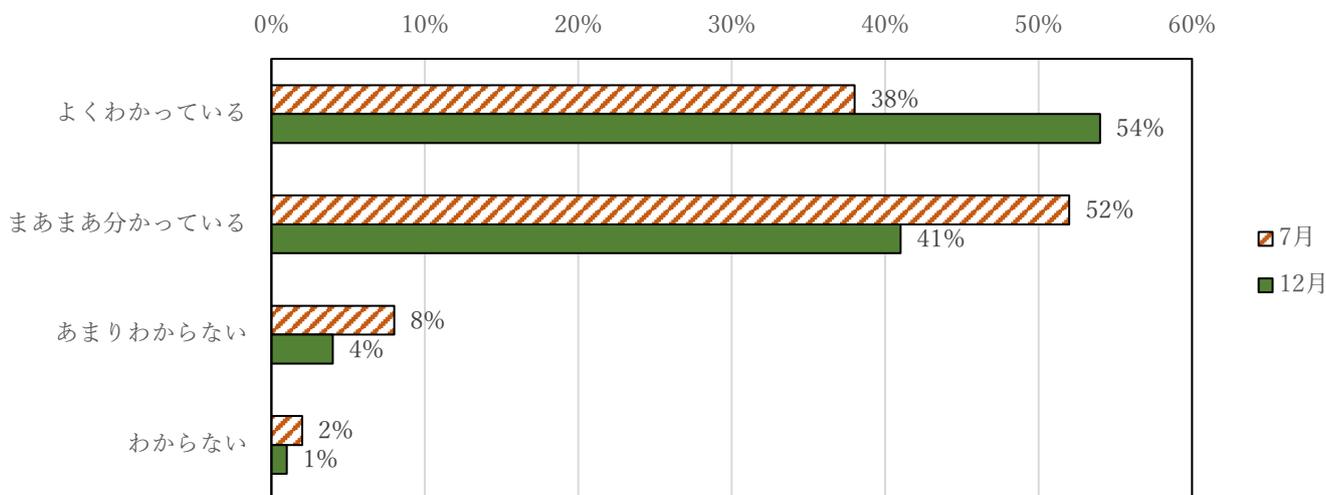
【問1】 英語は楽しくて、好きな教科だ。



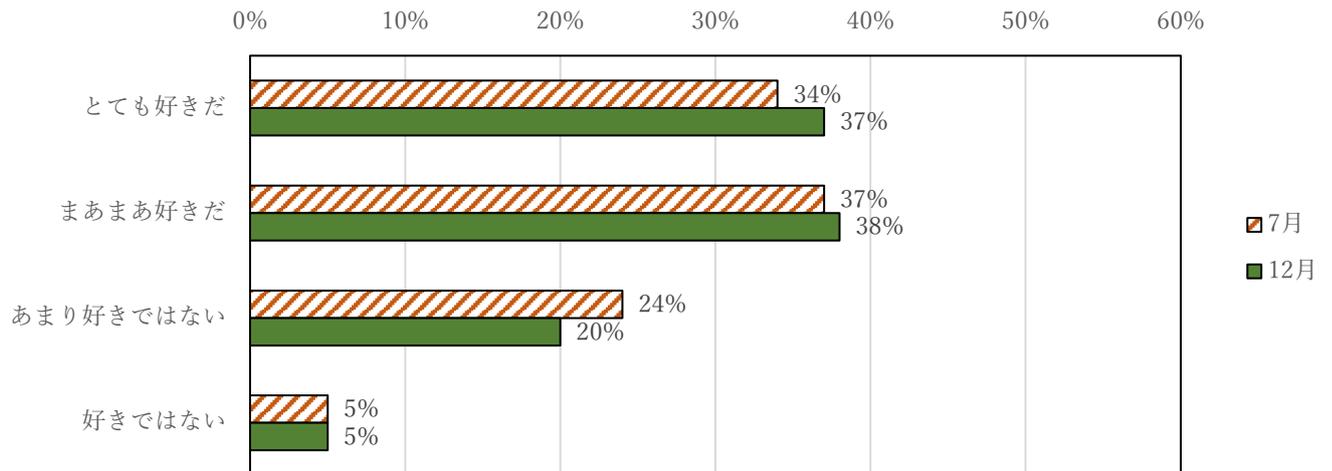
【問2】 毎回1時間の授業で、その時間の最後にめざす（できるようになる）ことが分かっていますか？



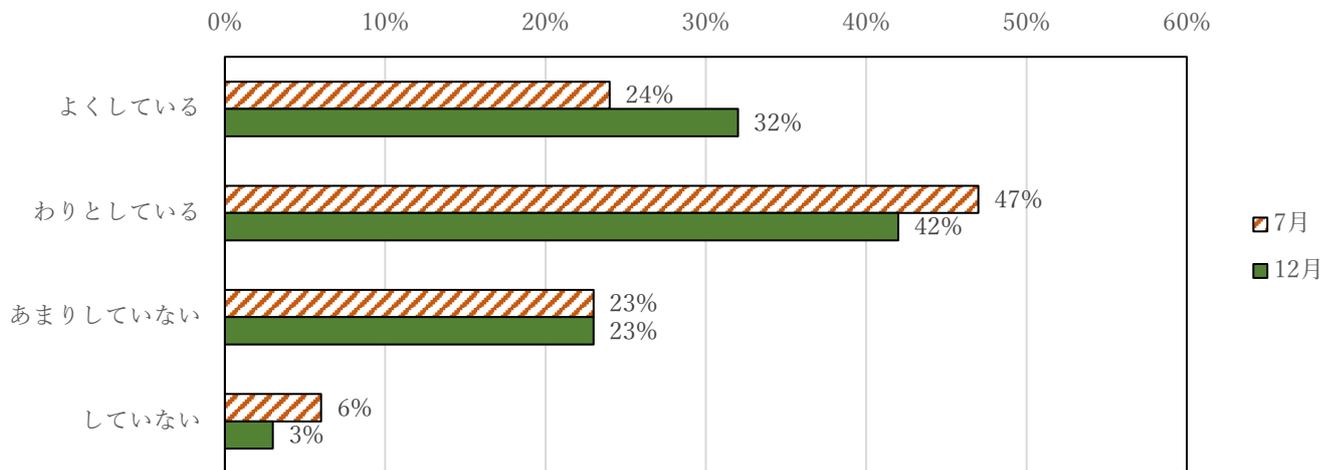
【問3】 各単元 (LESSON) において、まとめの活動の目標が何か、分かっていますか？



【問4】英語で話したり、書いたりして相手に伝える活動は好きですか？



【問5】習った英語を使って、先生や友達に自分の考えを伝えるようにしていますか？



【問6】LESSON4～6の授業を通して、外国の人と英語でコミュニケーションをしたいと思いますようになりましたか？

